

第64回 秋田県中学校スキー大会 監督会議資料

アルペン競技

1 はじめに

感染症拡大防止のために、様々な制約の中で実施されることとなります。たざわ湖スキー場も様々な対策を講じて、営業をするために尽力していただいております。

- ・レラのレストラン「しらかば」は、席数を減らし、密にならないようにしています。管理センターにある休憩所にも席を準備し、「しらかば」からテイクアウトできるメニューも準備しているそうです。
- ・「しらかば」や「休憩所」での密を避けるために、長時間の利用は遠慮していただくことになるそうです。その関係で荷物を置きっぱなしにすることはないようにし、ブーツの履き替えはできる限り車で行うなどしてください。
- ・リフト乗車は定員乗車を行いますが、同一グループ内での乗車になります。例年設置されている「お一人様専用レーン」はありません。
- ・ゲレンデ中腹、ゴールエリア付近の銀嶺ハウスは、大会で貸し切りにはしていただいております。荷物を置く必要がある場合は銀嶺ハウスに置いてください。銀嶺ハウスはテーブル、椅子有り、飲み物の自動販売機有り、トイレ有り、です。
- ・たざわ湖スキー場ホームページに、スキー場のガイドラインが掲載されているので、内容を必ず確認をしてください。

2 本大会は2020年度全日本スキー連盟最新版競技規則に基づき行います。

ただし、本大会要項に定めるものを優先します。

3 計時方法について

計時は電気計時装置で行います。

4 競技について

ア 1月16日(土) 男女GSL(別紙タイムテーブル参照)

1本目、2本目ともに男女同一セットで、女子が先にスタートします。

イ 1月17日(日) 男女SL(別紙タイムテーブル参照)

1本目、2本目ともに男女別セットで行います。

スタートから見て、左側に男子、右側に女子のセットをする予定です。

ウ GSL、SLともにシングルポール(27mm使用)で行います。

エ コース整備は競技中随時行いますが、状況によっては競技を中断して行う場合があります。

5 スタート方法について

ア GSLのスタートは、10秒前の音信後、5・4・3・2・1・のカウントがあり、その後の高音の発信音でスタートします。

- イ SLのスタートは、スタート係が「レディ」の合図を与え、それから2～3秒後に「ゴー」の合図を与えます。
- ウ 二種目ともア、イに定めたタイミングで定時スタートをしてください。
- エ 二種目ともに、1本目完走者全員が2本目スタートできることとします。
- オ スtockはスタートバーに触れないように定位置について、stockの二度付きは行わないでください。
- カ スタート間隔は、GSLは3.0秒、SLは3.0秒をめどに行います。棄権者(DS)があればスタートを繰り上げます。
- キ 2本目のスタートは、男女とも1本目10位からリバーします。
- ク スタート数分前のスタート地点での点呼は行いません。スタートに遅れないように、順序よくスタート地点に入ってください。

6 コースインスペクションについて

- ア 当日の出場者・監督及びコーチに限り、示された時間内に1回行うこととします。
- イ 二種目ともに、ビブを係員から見えるように着用し、上から下にサイドスリップで行ってください。コピー滑走をしたり、フォールラインにスキーの先端を向けたりすることのないように指導してください。また、コースを荒らさないように最大限の協力をお願いします。
- ウ SLのインスペクション時は、スタート付近ならびにゴール付近の数旗門、コース途中でセットが近すぎる箇所がある場合は、男子コースのポールを逆さまに立てておくことになります。
- エ コース状況によって、コースへの入場を制限する場合があります。

7 リフト運行ならびにリフト券について

- ア リフト運行時間は通常営業となります。
- イ リフト券について
リフト乗車の際は、必ずリフト券を係員に提示してください。
- ウ リフト券販売について
事務連絡にあったとおりです。リフト券の割引は選手、監督・コーチ対象です。

8 公式掲示について

- ア ゴールエリアに仮発表掲示板を設置し、仮発表します。
- イ 旗門不通過による失格は、掲示板に掲示します。
- ウ 放送による発表も併用します。

9 抗議について

抗議がある場合は、公式掲示の後15分以内に、ゴールハウスまたはジュリーに監督が申し出てください。

10 競技上の注意

- ア 競技進行の遅れがある場合は、放送で連絡をします。
- イ 旗門不通過、途中棄権者は、旗門審判員にはっきりと意思表示をし、ビブをはずしてコースサ

イドをデラパージュで降りてください。その際、後続の選手が滑走してきたら、必ず立ち止まることを指導してください。

ウ GSLでのスイッチバックは禁止です。

SLについては、後続の選手の妨げとなった時点で失格となります。コースアウトして再びコースに入る場合は、後続の選手を必ず確認し、追いつかれるようであればレースをやめるように指導してください。

エ 旗門不通過を自覚している場合や、途中棄権となった場合は、それ以降続くコースを滑走することのないように十分指導してください。

11 アップについて

ア 当日のアップコースは、銀嶺ユートピアコースを使用してください。

イ アップのコースに選手が入る場合は、必ず引率者（監督またはコーチ）が同行してください。ポールセットは両日ともに10：00から行いますので、希望する選手は、スタート地点に来てください。その際、監督やコーチ等、必ず大人が同行してください。監督やコーチはポールの修復やコース整備等に協力してください。

ウ 1本目の競技が始まる前にポールを撤去することになります。撤去は監督・コーチで行います。特定のコーチ数人に大きな負担をかけることがないように、各校の監督・コーチの協力をお願いします。

12 その他

ア 競技役員のリフト優先乗車にご協力ください。

イ 中学生らしい態度で競技しましょう。

- ・学校生活と同じく、携帯通信機器の利用制限、ガム等の食べ歩きについては各校で十分に指導してください。
- ・服装やスキーウェアの着こなしについても、各校で十分に指導してください。
- ・レラ内や休憩所を利用する場合は、公共の施設を利用させていただいていることを十分に指導してください。特に、レラ内での場所取りの禁止と荷物の整理整頓については、応援の保護者も含めて、徹底させてください。スキー場のガイドラインをしっかりと守りましょう。
- ・大会運営等にご協力をよろしく申し上げます。

レフリー・セッターの指名

1月16日（土）（男女GSL）

女子レフリー（ ）

男子レフリー（ ）

セッター 1本目（ ）

2本目（ ）

1月17日（日）（男女SL）

女子レフリー（ ）

男子レフリー（ ）

セッター 女子1本目（ ）

男子1本目（ ）

女子2本目（ ）

男子2本目 ()